

その
5

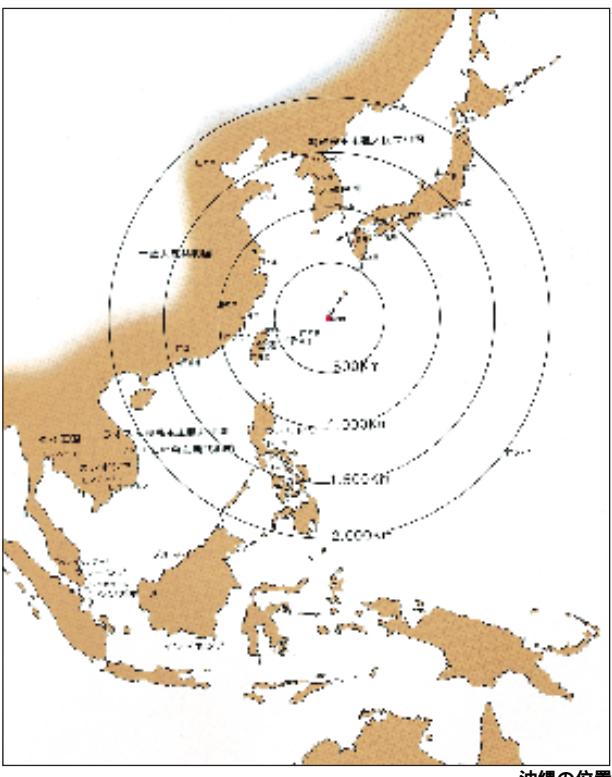
開発建設部

「以舟楫為万国之津梁」

じゅうしうをもつてはんいくのしんりょうとなす

の実現に向けて

沖縄における新世紀港湾ビジョンの策定



沖縄の位置

経済のグローバル化・環境への関心の高まり・生活の質的向上に対する認識の高まり等社会の変化を背景に、今後港湾は「経済活動の拠点」に加えて「人々が集う空間」「生活環境の向上に貢献する空間」「観光振興に資する空間」等地域の活性化を促進させるための空間としての役割も求められています。

新しい世紀を迎えた今、二十一世紀における沖縄の港湾の姿やその果たすべき役割を示すために、「沖縄における新世紀港湾ビジョン」を策定しました。

本ビジョンの基本目標として、「以舟楫為万国之津梁」の実現、つまり「港によって沖縄を世界に開かれた場所とし、沖縄を豊かにする」ことを掲げています。基本目標の達成に向けて、本ビジョンでは「どの様な港づくりを進めていくか」について分かりやすくまとめました。

2 本ビジョンのポイント

- (1) 那覇港をアジアの主要港に負けない国際競争力を持つ港にするための施策を進めていきます。
- (2) 那覇港浦添ふ頭地区において、大水深岸壁を複数有する国際化

1 本ビジョンの趣旨について

上コントナターミナルを整備します。

那覇港の特定重要港湾への格上げを検討していきます。

地元の財政負担を軽減させるための制度の導入について検討していきます。

(2) 「沖縄らしさ」を前面に出した、

景観に配慮した港づくりを進めています。

琉球石灰岩を使用した舗装や亞熱帯植物の植え込みなどにより、

港湾空間の高質化を進めます。

琉球王朝時代の文化遺跡を復元し歴史的雰囲気の漂う港湾空間を創出します。

(3) 「美海・美島」を守るため、環境に配慮した港づくりを進めていきます。

サンゴ・藻場・干潟等自然環境を積極的に保全・創出していく

親水対応型防波堤の整備など、市民が海辺に近づき身近にふれあうことが出来るための取り組みを進めています。

(4) 多くの市民や観光客がふれあう場となる「みなと街」を形成します。

沖縄が国際クルーズの一大拠点となるよう、主要な港湾に本格的な旅客船バースやターミナルを整備します。

3 今後の活用方針

本ビジョンは来年度以降の予算要求内容等に反映させていく予定で、今後はビジョンの実現に向けた必要となる調査・研究を積極的に進めていきます。

那覇港

17 Muribushi May 2001